

令和2年度 長崎県学力調査結果の概要

<速報版>

I 調査の概要

1 調査目的

本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てるとともに、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証して学力向上対策の一層の充実を図る。

2 調査実施期間・調査内容

- 令和2年7月1日(水)～7月31日(金)
- ・小学校調査 (国語・算数：第5学年：各40分)
(理科：第6学年：40分)
 - ・中学校調査 (国語・数学：第2学年：各45分)
(英語：第3学年：45分)

3 調査実施校数及び児童・生徒数

(1) 調査実施校数 494校

※ データ集計校数 484校 (8月24日現在)

(2) データ集計児童・生徒数 (8月24日現在)

小学校第5学年	国語	10,665人
	算数	10,671人
小学校第6学年	理科	11,036人
中学校第2学年	国語	10,023人
	数学	10,030人
中学校第3学年	英語	9,805人

Ⅱ 結果の概要

1 出題の考え方

- 学習指導要領が目指す学力像を示し、授業で身に付けさせたい資質・能力に視点をあてたもの。
- 学習指導要領が求める基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を問うもの。
- 学習指導要領の内容の定着状況を把握するとともに、過年度の課題を検証する。
- 各教科の平均正答率の目標値（以下「目標値」とする）を60%とする。

2 県全体の平均正答率（%） ※参考値

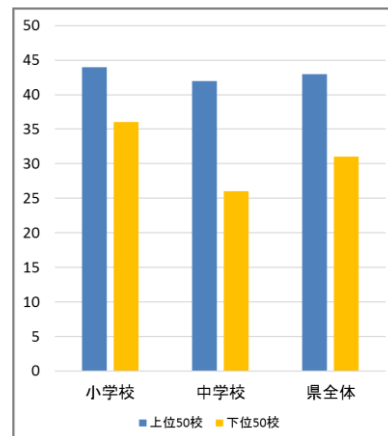
	小学校			中学校		
	第5学年		第6学年	第2学年		第3学年
	国語	算数	理科	国語	数学	英語
令和2年度	51.7	57.8	55.7	62.4	49.2	48.2
H29～H31の平均	60.3	60.1	55.1	67.0	54.9	48.6
差	-8.6	-2.3	0.6	-4.6	-5.7	-0.4
自校						

3 平均正答率と「学力向上のための三つの提案」に係るアンケートとの相関 （上位校と下位校の比較）※平均正答率上位50校、下位50校（1学年20名以上）を抽出

- ねらいに即した「書く活動」を重視している学校

	上位校	下位校	差
小学校	44.0	36.0	8.0
中学校	42.0	26.0	16.0
県全体	43.0	31.0	12.0

※「よく行っている」と回答した学校の割合（%）



4 結果の総括

(1) 県全体の平均正答率から

- 小学校においては、国語、算数、理科について目標値（正答率60%）に至らなかった。
- 中学校においては、国語は昨年度に引き続き目標値（正答率60%）を上回り、数学と英語は目標値に至らなかった。
- 過去3年間の平均と比較すると、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語において下回った。

(2) 平均正答率と「学力向上のための三つの提案」に係るアンケートとの相関から

- 小・中学校を通して、平均正答率が高い学校ほど、ねらいに即した「書く活動」を重視する授業を実施している。

<参考資料>

平均正答率が6割以上の児童生徒の割合の推移

	前期(H26~H28)	後期(H29~H31)	差
小学校(国・算)	50.3	57.4	7.1
中学校(国・数)	38.3	55.8	17.5
県全体	44.2	56.6	12.4

※3年間ごとの割合の平均(%)

- 小・中学校を通して、前期3年間よりも後期3年間の割合が向上している。

5 各教科における課題

(太字は令和元年度に設定した重点課題)

		課 題	問題番号	平均正答率		
				県	自校	
小 学 校	国語	条件に合わせて書く	3一	27.0		
		語彙（漢字）	3二(3)ウ	39.6		
		文を書き直す	3二(1)① ② (2)	20.7 21.9 16.3		
	算数	式の表現と読み	2(4)	50.2		
		資料の整理と読み	4(1)② (2) (3)	38.2 43.2 42.3		
		計算の仕方の説明	1(2)	35.2		
	理科	獲得した概念等を日常生活に適用する	2(2)	37.7		
		実験結果を基に分析、考察し、記述する	1(3) 3(2)	41.9 49.2		
	中 学 校	国語	複数の情報を整理し、条件に合わせて書く	3二	48.8	
			文章の内容をとらえる	2一(2)	23.9	
数学		一次方程式を解く	2(2)	51.1		
		条件を変えた場合について数学的に説明する	6(2)	26.0		
		相対度数を用いた理由を説明する	9(1)	24.3		
英語		適切な表現をする	9(2)	8.2		
		自分の考えを書く	10①	24.5		
			②	11.7		
	③		27.7			
情報に基づいた英文を書く	8(3)	11.4				

3 二(1)①②(2) 文を書き直す

- 自分が書いた【ほうこくする文章】を読み返し、間違いを正したり、よりよい文章に書き直したりすることができるかどうかをみる問題です。

二 上田さんは、自分が書いた「ほうこくする文章」を読み返しています。次の(1)から(4)の問いに答えましょう。

(1) 分かりやすく伝えるために、——線部Aの文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「しかし」を使います。書き直した一文目の終わりの四文字を①に、二文目の「しかし」に続く四文字を②に書きましょう。

おのうえ町では、大きな事や事けんが起きていないけど、わたしは、それがどうしてなのか分かりません。

①
。しかし、
②

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

(2) ——線部Bの部分を読み返し、……のところを書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、正しく書き直しましょう。

【書き直す前】

そこは、小学生と自転車がぶつかりそうになったのです。

【書き直したあと】

そこは、小学生と自転車()。

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

<改善のポイント>

推敲の過程においては、次のような視点で文章を見直すよう指導することが大切です。

- (1) 間違いはないか…主語と述語、修飾語と被修飾語の関係の明確さ、敬体と常体などの文末表現の使い方など 【読解力育成の視点：係り受け解析】
- (2) 相手や目的を意識した表現になっているか…相手の立場や年齢に応じた文末表現になっているか、相手の知識や関心に応じた書き表し方になっているかなど

また、下書きと推敲後の文章を比べるなど、児童自身が間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることによって、整った文章になることが実感できるような工夫をすることが考えられます。

☆平均正答率 (%)

	3 二(1)①	3 二(1)②	3 二(2)
最上位市町	31.5	29.9	32.3
県	20.7	21.9	16.3
自校			

<自校の改善のポイント>

小学校算数

4(1)②(2)(3) 資料の整理と読み **重点課題**

・組み合わせたグラフの値を読むことができるかどうか、複数のグラフを関連付けて考え、根拠を持って説明できるかどうかをみる問題です。

4

たかしさんとゆうかさんは、アイスクリーム工場へ社会科見学に行きました。そこで調べたことなどをもとに、新聞にまとめて発表することになりました。

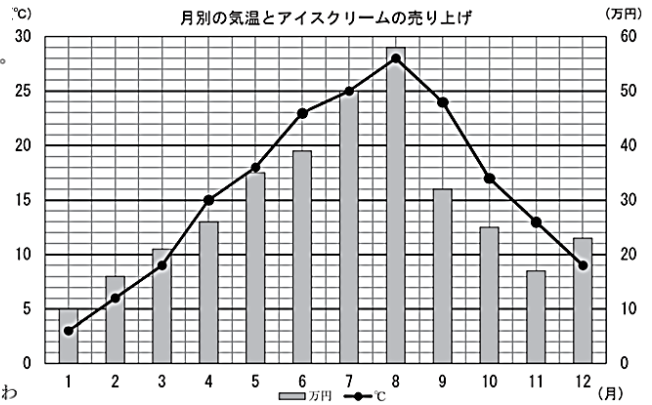


アイスクリーム工場の人から、アイスクリームの売り上げと、気温の関係について話していたね。



そのことをグラフに表して発表しようよ。

ゆうかさんの意見をもとに、たかしさんは、自分たちが住む町の月別の気温の変わり方を折れ線グラフに、近所のお店の月別のアイスクリームの売り上げを棒グラフに表しました。



- (1) ① 4月の気温は何°Cですか。
- ② 4月の売り上げは何万円ですか。
- (2) 気温が一番高い月の、アイスクリームの売り上げは何万円ですか。
- (3) たかしさんは、折れ線グラフと棒グラフを見て、月別の気温とアイスクリームの売り上げの関係について次のように考えました。



前の月と比べて気温が上がると、アイスクリームの売り上げもふえているね。前の月と比べて気温が下がると、アイスクリームの売り上げもへっているね。

たかしさんの考えは正しくありません。その理由を書きましょう。

<改善のポイント>

グラフの学習では、問題文とグラフを照らし合わせ、表題、縦軸や横軸、1目盛りの大きさを確認する習慣を身に付けさせます。【読解力育成の視点：イメージ同定】

4(3)では「2つのグラフを関連付けて考える」「判断の根拠を記述する」ことが求められます。授業では、グラフから読み取ったことを紹介し合う場面で、根拠をもって表現させることが大切です。また、気温や影の長さなど、複数の事象を折れ線グラフや棒グラフを組み合わせたグラフに表し、特徴を読み取らせることなども考えられます。【読解力育成の視点：イメージ同定、推論】

☆平均正答率 (%)

	4(1)②	4(2)	4(3)
最上位市町	50.0	58.2	54.3
県	38.2	43.2	42.3
自校			

<自校の改善のポイント>

1 (2) 計算の仕方の説明

- 示された計算の仕方を基に、数を構成する単位に着目して小数÷整数の計算の仕方を考えることができるかどうかをみる問題です。

(2) 次に、ひろとさんとあいさんは、新入生にわたすプレゼントにつけるリボンの長さについて考えました。

ひろとさんが使うリボンの長さは、3人で1.5mです。そこで、1.5mのリボンを3つに分ける $1.5 \div 3$ の計算の仕方について、下のように考えました。



(ひろとさんの計算の仕方)

1.5 ÷ 3 の計算の仕方を考えます。

1.5 は、0.1 の 15 ぶんなので

$$15 \div 3 = 5$$

商の 5 は、0.1 の 5 ぶんなので、

答えは 0.5m です。

また、あいさんが使うリボンの長さは 1.26m です。あいさんは、ひろとさんの計算の仕方をもとに、 $1.26 \div 3$ の計算の仕方について考えました。



(あいさんの計算の仕方)

1.26 ÷ 3 の計算の仕方を考えます。

1.26 は、 の ぶんなので

$$126 \div 3 = 42$$

商の 42 は、 の ぶんなので、

答えは m です。

あいさんの計算の仕方の から にあてはまる数字を書きましょう。

<改善のポイント>

計算の仕方を考える場面では、児童が既習の知識・技能と結び付けながら新しい方法を見いだす活動を設定します。

小数の計算では、0.1 や 0.01 のいくつ分という見方によって、整数の場合と同じように考えて計算できることに気付かせることが重要です。

【読解力育成の視点：具体例同定】

また、小数×整数の学習を基にして、小数÷整数の計算の仕方を考える活動や、**1 (2)** のように、被除数が小数第一位までの数の計算の仕方を基に、被除数が小数第二位までの数の場合を考える活動を設定することも必要です。

【読解力育成の視点：推論】

☆平均正答率 (%)

最上位市町	47.3
県	35.2
自校	

<自校の改善のポイント>

1 (3) 実験結果を基に分析、考察し、記述する **重点課題**

・適切に条件を制御した実験を構想するために、実験結果と関係付けながら調べ方を分析して考察し、その内容を記述することができるかどうかをみる問題です。

いちろうさんたちは、発芽した植物をさらに大きく成長させるためにどのような条件が必要なのか調べようとしています。



さらに大きく成長させたいね。そのためには、日光や肥料が必要だと思うよ。

さっそく、インゲンマメを使って調べてみましょう。



【予想】

- ・ Bが最もようぶに大きく育つだろう。
- ・ AはBよりも育たないだろう。
- ・ Cが最も育たないだろう。
- ・ DはCより育つが、Aよりも育たないだろう。



結果は、予想していたこととちがったね。どうしてだろう。実験の方法に問題があったのかな。

この実験で花だんの土を使ったのがよくなかったのかな。



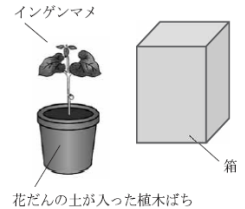
(理由)

花だんの土を使うと、

から。

【調べる方法】

A	室内の明るい場所で、水を与える
B	室内の明るい場所で、水と肥料を与える
C	室内の暗い箱の中で、水を与える
D	室内の暗い箱の中で、水と肥料を与える

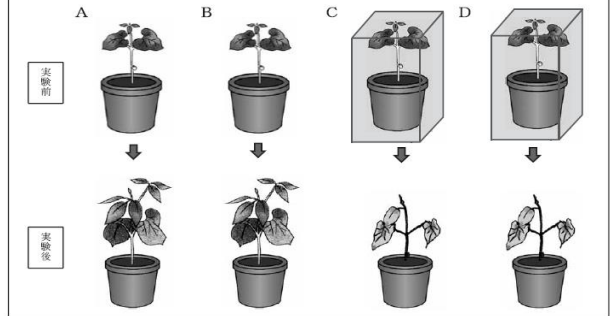


<調べるときに変えない条件>

- ・ 葉の数や草たけなど、同じ大きさに育ったインゲンマメを用意すること
- ・ 養分のふくまれる花だんの土を使って植えること
- ・ 空気や温度の条件（気温25℃）をそろえること
- ・ 水や肥料を与える回数や量をそろえること

【結果】

- AとBは、育ち方にほとんど差がなかった。
- CとDは、育ち方にほとんど差がなかった。
- AとBは、CやDよりも大きく育った。



※ CとDの箱の中は暗くなっています。

<改善のポイント>

理科の実験においては、自分の予想と実験結果を照らし合わせたり、必要な情報を整理したりして、それらを根拠に自分の考えをまとめる活動が大切です。

例えば、この問題のように、予想と結果の違いに着目し、調べる方法で設定した条件のうち、何が予想と違う実験結果につながったのか、理由を明確にしながら考察する活動が考えられます。

【読解力育成の視点：推論】

☆平均正答率 (%)

最上位市町	60.0
県	41.9
自校	

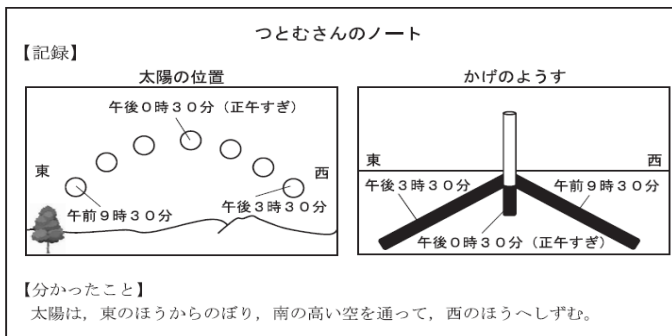
<自校の改善のポイント>

2 (2) 獲得した概念等を日常生活に適用する 重点課題

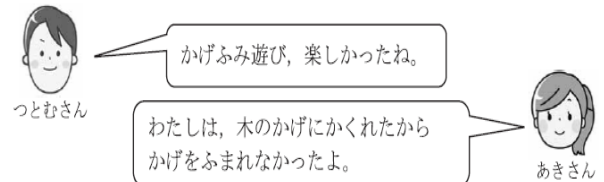
・影ができる方位を判断するために、観察した事実と情報を関係付けながら、分析して考察できるかどうかをみる問題です。

2 つとむさんとあきさんは、太陽と月、星の動きについて調べるために観察をすることにしました。

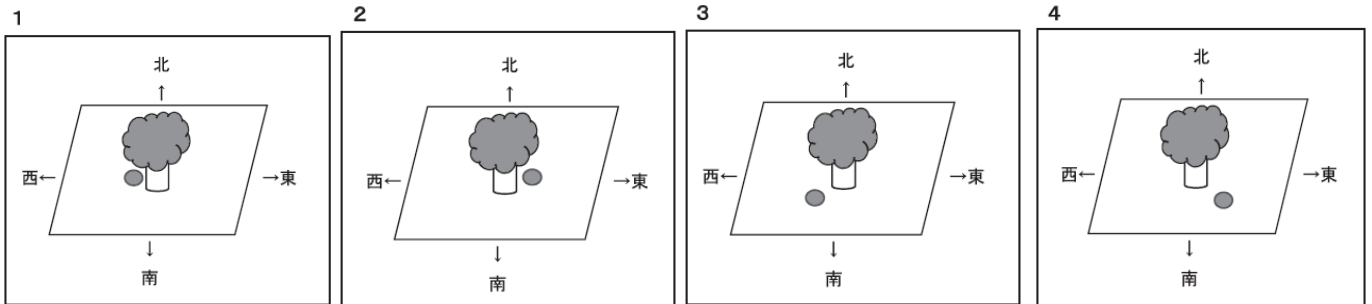
はじめに、つとむさんは、太陽の位置とかげのようすを調べてノートに記録しました。



つとむさんとあきさんは、午前9時30分に記録をしたすぐ後に、近所の友達とかげふみをして遊びました。



(2) あきさんは、かげふみ遊びをしたときに、どの場所にいたと考えられますか。下図の1から4の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
(※ 図中の●は、あきさんがいたと考える場所を示しています。)



<改善のポイント>

獲得した知識や概念等を日常生活などに適用して考える力を養うためには、実験や観察の際、知識や概念と生活経験とを関連させながら、予想を立てさせることが大切です。

また、この問題のように図や表などを用いて、観察した事実と実際に影ができる方位を関係付け、それを言葉や文章で表す活動が考えられます。

【読解力育成の視点：イメージ同定】

☆平均正答率 (%)

最上位市町	60.0
県	37.7
自校	

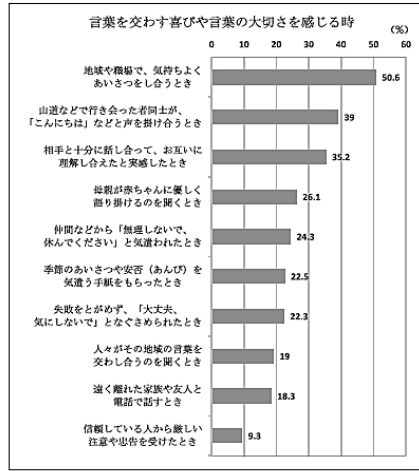
<自校の改善のポイント>

3 二 複数の情報を整理し、条件に合わせて書く **重点課題**

- ・ 目的や意図に応じて、資料の中から根拠となる情報を取り出して正確に書くことができるかどうかをみる問題です。

二 田中さんは、「意見文の下書き」で「言葉の大切さ」の具体例に自分の体験を挙げるだけで足りないと考え、「国語に関する世論調査の結果」にある情報を用いて、次の書き出しに続けて、「国語に関する世論調査の結果」を見ている人にも分かるように書きなさい。

書き出し
さらに、平成二十七年に文化庁が行った「国語に関する世論調査」における、「言葉をおぼえたりや言葉の大切さを感じる時の結果から分かることがある。例えば、



「平成27年度『国語に関する世論調査』の結果の概観」（文化庁）を基に作成

※SNS……ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人の社会的なつながりを推進・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス。

最近、私の身の回りで、言葉をおぼえたりや言葉の大切さを感じることが多い。もちろん自分もそうだ。例えば、地域の人と外ですれちがってもあいさつをしないことがある。あいさつをしない理由は、はすかしくとか、めんどうだということがある。また、日常会話やテレビ、SNS上のやりとりでは、「やばい」という言葉が多用されるようになった。「やばい」は、いい意味でも悪い意味でも使えて、便利などところもある。しかし、みんなが言葉をおぼえたりや言葉の大切さを感じなくなったら、私たちの生活は気にならないものになってしまうのではないだろうか。通学路で、毎朝顔を合わせる地域の方がいる。その方は、「おはよう。今日も元気？」「おはよう。部活動がんばってね。」と、私の表情や様子を見て、いつも言葉をおぼえたりや言葉の大切さを感じさせてくれる。そんな時は、とても晴れやかな気持ちになり、一日をとても明るい気持ちで過ごすことができた。このように、言葉というものは、とても大切なものだと思う。

私は、自分の言葉の使い方をもう一度見直し、言葉を通して人を明るく気持よくしていきたくて考えている。みなさんも、改めて考えてみてはどうだろうか、身近な言葉の大切さを。

【意見文の下書き】

3 江戸町中学校の二年二組では、国語の授業で、意見文を書く学習を行っています。田中さんは、「言葉の大切さ」というテーマで意見文を書いています。次は、田中さんが書いた「意見文の下書き」と、読み返したあと新たに思いついた「国語に関する世論調査の結果」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

<改善のポイント>

説得力のある意見文にするためには、自分の考えを支える「根拠」を明確にして書くことが大切です。例えば、テーマに沿って図表から必要な情報を取り出し、それを根拠にして自分の考えを書く活動が考えられます。

【読解力育成の視点：イメージ同定】

その際、問題や課題について述べる段落、集めた材料などについて分析する段落、それらを基に自分の意見や考えを述べる段落など、段落の役割を考えて文章を構成するよう指導することも重要です。

また、指導に当たっては、教師が書いたモデル文を示すとともに、なかなか書くことのできない生徒には、この問題のように書き出しを指定して書かせることも、有効な手立ての一つです。

☆平均正答率 (%)

最上位市町	68.9
県	48.8
自校	

<自校の改善のポイント>

2- (2) 文章の内容をとらえる

- ・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる問題です。

(2)

- 『沈黙』の内容として適切なものを、次の1から5までの中からすべて選びなさい。
- 1 信徒たちは、「じいさま」や「とっさま」などの役職を設けて、組織を作って信仰を誇っていた。
 - 2 信徒たちは、時々集まっては聖書を眺めたり雑談をかわしたりして、なごやかに過ごしていた。
 - 3 信徒たちは、役人だけでなく、隣人からの目も恐れながら、油断することなく生活していた。
 - 4 信徒たちは、信仰を隠すためになるべく家から出ないようにしていたので、とても貧しかった。
 - 5 信徒たちは、人々に裏切られた経験から、よろこびや悲しみを感ずることができなくなっていた。

禁教下の長崎にひそかに上陸し、潜伏キリシタンとの接触に成功した宣教師ロドリゴは、彼らの生活について、次のように報告します。この場面からは、人々の生活の様子や苦しみがうかがえます。

私は、貴方にも少し詳しく、信徒たちの秘密組織について書きましよう。この組織のなかに長老の「じいさま」と「とっさま」と呼ぶ役職があつて、「じいさま」が洗礼の秘蹟を受けもち、「とっさま」が祈りや教理を信徒たちに伝えることは申しあげました。この「とっさま」はまた磨をくつて我々の教会の祝日をみなに告げる仕事もするのです。彼らの話によりますと、クリスマスも受難の日も復活祭もすべてこの「とっさま」のシジによって行われるのだそうです。もちろん、そういう祝日には司祭の絶えてしまった彼らにはミサにあずかることはできません。だから、ただ古い聖書を「軒の家の中でひそかにみせたあと、祈りをするだけです。(彼らはこれらの祈りをラテン語のまま「パテル・ノステル」だの「アベ・マリア」だのと申しております。)そして祈りをとる時は、その合間になげない雑談をまじえます。警吏たちがいつ踏みこんでくるかもわからないし、たとえ踏みこんでもこの時はたんなる寄合いだと言へる準備をしておいたのです。

島原の内乱以後、この地方の君主は、徹底的にかくれた基督教徒を探索はじめ、警吏たちは一日一回は、各部落を巡察してまわりますし、また不意に家宅に侵入して行くこともあります。

たとえば、昨年、すべての家は隣家との間に塙や垣根を作つてはならぬという布告が出ました。たがいの家のウチガワが見とおせるようにして、もし怪しい振舞いをしていいる隣人がいれば、すぐ密告させるためです。私たち司祭の居場所を届けた者には、銀三百枚が支払われます。修道士には銀二百枚、どんな信徒でも発見させれば、銀百枚が賞金となるのです。これらの金があまりにも貧しい農民たちにどんな誘惑になるかを察して下さい。だから信徒たちは、ほとんど他の村の人間を信じません。モキチやイチソウといひ、あの老人といひ、ほとんど人形の面のように表情のない顔をしていゝることは既に書いた通りですが、その理由が今にして私は、はっきりわかりました。彼らはよろこびも悲しみさえも顔に出してはならぬのです。長い秘密の生活がこの信徒たちの顔を仮面のように作つてしまつたのです。それは辛い、悲しいことです。神はなぜ、このような苦難を信徒たちの上にお与えになるのか、私には、わからなくなることがあります。

(注) 秘蹟 キリスト教の用語で、神の恩恵を信徒に与える主要な宗教的儀式のこと。司祭など、宗教的な資格を持つ者によって行われる。

・ミサ キリスト教における礼拝のための集会

・警吏 警備の役人

・島原の内乱 島原・天草の一揆。江戸時代はじめ、天草四郎を中心とするキリシタン信徒が決起し、勢力を拡大しながら約三万七千人が原城に立てこもつたが、多くが処刑された。その一年半後にポルトガル人が日本から追放され、「鎖国」が始まつた。

・司祭 神父のこと。

今回は、「明治日本の産業革命遺産」と文学について紹介します。お楽しみに。

<改善のポイント>

文学的な文章を読む際には、目的に応じて、時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み、的確に内容をとらえることができるように指導することが大切です。

例えば、作品の形態や特徴を生かしながら文学的な文章を朗読するなどの学習活動が考えられます。その際、朗読の工夫の明確な根拠として、場面の展開や登場人物の描写を挙げさせることで、文章の理解を深めることができるように指導することが重要です。

また、文章の内容を生徒にまとめさせたり、教師がまとめた文を提示したりして、本文の内容と一致しているか話し合わせることも、有効な手段の一つです。

【読解力育成の視点：同義文判定】

☆平均正答率

最上位市町	35.7
県	23.9
自校	

<自校の改善のポイント>

6 (2) 条件を変えた場合について数学的に説明する

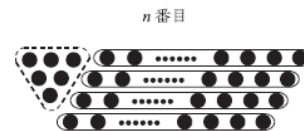
- ・与えられた説明を参考に、考え方を変えた場合について、解決の過程を数学的に説明することができるかどうかをみる問題です。

6 下のように、あるきまりにしたがって基石を並べていきます。



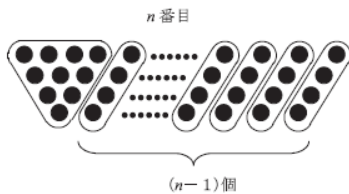
図2のように、囲み方を変えて考えると、基石全部の個数を求める式はどのように表すことができますか。次の【説明】を完成させなさい。

図2



(2) n 番目の図について考えます。
 図1のような囲み方をすると、基石全部の個数は、 $10 + 4(n - 1)$ という式で求めることができます。
 基石全部の個数を求める式が $10 + 4(n - 1)$ となる理由は、次のように説明できます。

図1



【説明】

したがって、基石全部の個数を求める式は、() になる。

【説明】

10個のまとまりと、それとは別に4個のまとまりが $(n - 1)$ 個あるから
 $10 + 4 \times (n - 1) = 10 + 4(n - 1)$
 となる。
 したがって、基石全部の個数を求める式は、 $10 + 4(n - 1)$ になる。

<改善のポイント>

問題の結果が得られたところで終わるのではなく、得られた結果について、「ほかの方法はないか」、「条件を変えて考えることはできないか」、「共通点はないか」という視点で、統合的・発展的に考える場面を設定することが大切です。

また、問題文や式の数量が、図のどの部分を表しているかを、下線を付したり、線で結んだりして丁寧に確認しながら問題理解を促すことによって、解決の見通しをもたせることができます。

【読解力育成の視点：イメージ同定】

<自校の改善のポイント>

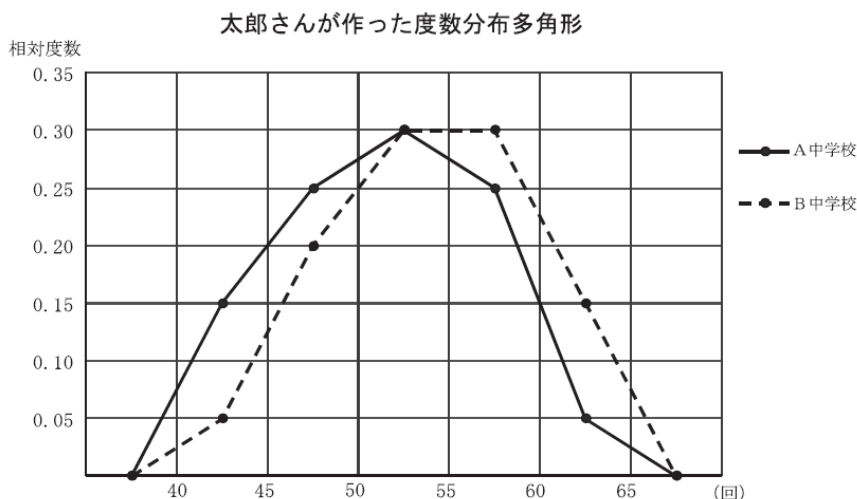
☆平均正答率 (%)

最上位市町	41.9
県	26.0
自校	

9 (1) 相対度数を用いた理由を説明する

- 相対度数の意味と相対度数を用いるよさを理解し、説明することができるかどうかをみる問題です。

9 太郎さんは、A 中学校の生徒 100 人と B 中学校の生徒 40 人の反復横跳びの記録を比べるために、回数の階級ごとに相対度数を求め、相対度数の度数分布多角形（度数折れ線）に表しました。次の (1)、(2) の各問いに答えなさい。



- (1) 太郎さんが、A 中学校の生徒と B 中学校の生徒の反復横跳びの記録を比べるために、相対度数を用いた理由を説明しなさい。

<改善のポイント>

相対度数を求める問題 (5 (1)) では、正答率が5割を超えているのに対し、この問題では正答率が低だけでなく、無解答率が30.9%でした。相対度数を求めることはできても、相対度数の必要性和意味を十分に理解できていないことが考えられます。資料の活用の授業においては、文脈に即して問題を解決する場面で、相対度数や代表値などの用語の意味を確認したり、分析の過程や結果の妥当性を検討する場面を設定したりすることが大切です。 【読解力育成の視点：具体例同定】

☆平均正答率 (%)

最上位市町	46.0
県	24.3
自校	

<自校の改善のポイント>

9 (2) 適切な表現をする **重点課題**

- ・与えられた会話のやり取りの内容から推測し、自分の発言として適切な英文を的確に表現することができるかどうかをみる問題です。

Bob : I went to Fukuoka with my mother yesterday.

You : Oh, ()?

Bob : To see a concert. I had a good time.

You : Sounds good.

<改善のポイント>

授業において、まずは目的・場面、状況を設定したコミュニケーション活動を仕組むことが必要です。コミュニケーション活動を充実させることで、状況を推測させ、適切な表現を考えることが習慣化します。読むことにおいても、状況を推測できるような課題を与え、適切な文を書くことにつなげたいものです。

【読解力育成の視点：推論】

また、文法指導としては、この問題のように、Why～？に返答する際、Because～.だけではなく、不定詞で返答することができるといった会話の幅広さを意識した指導も大切です。

☆平均正答率 (%)

最上位市町	43.6
県	8.2
自校	

<自校の改善のポイント>

10 自分の考えを書く **重点課題**

・与えられた条件で自分の考えを整理し、文と文のつながりに注意して、まとまりのある英文を書くことができるかどうかをみる問題です。

10 海外のある料理人が、東京オリンピックに向けて、選手団の食事担当として「長崎の伝統料理」を夕食に加えようと考え、ウェブサイトで意見を募集しています。A（ちゃんぽん）とB（角煮まんじゅう）のどちらがよいか、あなたの考えを理由とともに20語以上の英語で書きなさい。なお、解答の英文中には *champon, kakunimanju* ではなく、A または B の表記を用いること。



*短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (, や ? など) は語数に含めません。
 (例) No , I'm not . 【3語】

<改善のポイント>

授業において、自分の考えや理由を口頭で伝え合う言語活動を多く取り入れることが大切です。その上で、授業中の帯活動で、自分の考えや理由を「書き貯める」活動を継続させ、書くことへの抵抗感を軽減させるようにします。その際、時間制限や語数指定を設定することにより、単語の綴り間違いを恐れずに書く姿勢を身に付けることができます。

一方、3つの視点によるルーブリック評価においても、とりわけ文法の正確性の正答率が低いことから、単元構想において、コミュニケーション活動を中心とした英語で指導する時間と、日本語で確実に文法を指導する時間を設定し、文法定着を図ることが大切です。

☆平均正答率 (%)

	①語彙の 適切性	②文法の 正確性	③論理性
最上位市町	59.0	30.5	59.4
県	24.5	11.7	27.7
自校			

<自校の改善のポイント>

3 6つの問題分野（特に、「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」「具体例同定」）を日頃の授業づくりの視点に加える。

6つの問題分野（6分野7項目）を日頃の授業づくりの視点に意識して加え、読解力の育成を図ることが大切です。

係り受け解析	<ul style="list-style-type: none"> 教師が意図的に主語や述語、目的語などを問う。 → P8（小国）
照 応 解 決	<ul style="list-style-type: none"> 「それ」「これ」などの、指示代名詞が示す言葉や内容について、線を引くなどして読み取らせ、全体で確認する。 → P8（小国）、P9（中社） 省略された主語や目的語を補うように指示する。
同 義 文 判 定	<ul style="list-style-type: none"> 複数の意見や考え方が同じかどうか、グループで話し合わせる。 → P8（小理）、P10（中理） 自分の意見や考え方がモデルと同じかどうか考えさせる。
推 論	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項等を根拠として新しい知識を獲得させたり、考察させたりする。 → P8（小理）、P10（中理） 文章中に書かれている内容等について、根拠を明確にして自分の考えを述べさせる。
イ メ ー ジ 同 定	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取ったことを絵や図、表などを用いて整理させる。 → P7（小算）、P9（中社） 図や表、グラフから読み取ったことを、言葉や文章で表す活動に取り組ませる。 → P9（中数）
具 体 例 同 定	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、考えたり話し合ったりする活動に取り組ませる。 → P9（中数）、P10（中理） 様々な事例や自分の書いた文章が、定義に合っているか確認させる。

次ページから、6つの問題分野（6分野7項目）を視点に加えた授業実践事例を紹介します。



特別な取組を始めるのではなくて、普段の授業で使っている言葉を見直したり、これまでの手立てに読解力育成の視点を加えたりしていけばいいですね。

7 各教科の設問別正答率

<小学校国語>

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一 (1)	発表するのに適切な資料を選択する	相手や目的に応じて発表の方法を工夫する	79.5 19.6 0.8
	一 (2)	効果を考えて、提示する資料を変えた理由を書く	相手や目的に応じて発表の方法を工夫する	46.2 46.9 6.9
	一 (3)	興味を引くための話し方の工夫としてふさわしくないものを選択する	相手に伝えるための適切な話し方を工夫する	67.3 31.4 1.3
	一 (4)	相手のことを考えて伝わりやすい言葉に言い換える	相手が聞き取りやすい適切な言葉に言い換えて話す	62.3 32.0 5.7
	二	調べたきっかけや目的について話している人の名前を答える	話の中心に気を付けて聞く	32.4 61.3 6.3
2	一 (1) ア	折り紙文化が広まった理由を選択する	目的に応じて必要な文を選び出す	63.5 34.5 2.0
	一 (2) イ	折り紙の魅力を資料を読んで30字以内で書く	目的に応じて必要な文を選び出す	50.4 40.5 9.1
	二 (1) ウ	折り紙（おりがみ）をローマ字で書く	ローマ字で正しく書く	50.5 41.1 8.5
	二 (2) エ	紙飛行機の魅力を短い言葉で書く	目的や必要に応じて要約する	46.5 39.8 13.6
	三 (3) オ	紙飛行機の折り図の③のオに入る説明を選択する	目的や必要に応じて細かい点に注意しながら読む	79.7 17.0 3.3
3	一	調べたことを報告する文章の一部を書く	自分の考えとそれを支える理由を書く	27.0 57.7 15.3
	二 (1) ①	文を意味を変えずに、「しかし」を使って、一つの文を二つの文に書き直す	敬体と常体に気を付けながら書く	20.7 44.5 34.8
	二 (1) ②	文を意味を変えずに、「しかし」を使って、一つの文を二つの文に書き直す	接続語の果たす役割を理解して使う	21.9 42.9 35.1
	二 (2)	主語と述語の関係に注意して……の部分を書き直す	文の間違いを書き直す	16.3 67.3 16.4
	二 (3) ア	漢字を書く ア つうがくる	学年別漢字配当表に示されている漢字を文脈に即して正しく読む、書く	67.8 17.8 14.4
	二 (3) ウ	漢字を書く ウ まわり		39.6 45.2 15.2
	二 (4) イ	漢字を読む イ 持ち		76.5 8.3 15.2
	二 (4) エ	漢字を読む エ 協力		78.6 5.9 15.4
三	文章の構成の工夫としてふさわしくないものを選択する	相手や目的に応じて、文章の構成を工夫する	55.3 28.5 16.2	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	赤 1mを5等分したテープの1つ分の長さを分数で表す	分数の意味や表し方について理解している	73.9 25.1 1.0
		青 1mを5等分したテープの8つ分の長さを分数で表す		45.3 53.7 0.9
	(2)	1.5mのリボンを3等分するときの計算の仕方を基に、1.26mのリボンを3等分した長さを求める	数を構成する単位に着目して小数÷整数の計算の仕方を考えることができる	35.2 63.4 1.4
	(3)	2m76cmを□cmと表す	長さの単位を知り、他の長さの単位との関係を理解している	80.0 18.8 1.2
2	(1)	① 二次元表から、毛糸は使いたい、色紙は使わない子どもの人数を調べる	二次元表に表された数の意味を理解し、空欄にあてはまる数を求めることができる	80.6 18.4 1.1
		② 二次元表から、色紙を使いたい子どもの人数を調べる	二次元表に表された数の意味を理解し、空欄にあてはまる数を求めることで、必要な情報を得ることができる	53.7 44.8 1.5
	(2)	① 台形2つを組み合わせて平行四辺形ができる理由を選ぶ	平行線や台形、平行四辺形の性質を理解している	64.3 34.3 1.4
		② 平行四辺形のまわりの長さを調べる	辺の重なりがあることに気付き、適切に長さを求めることができる	42.4 55.4 2.2
	(3)	示された図の作図において、コンパスを開く長さ、はりをさす位置をかく	円の中心に着目して、コンパスを用いた円の作図ができる	39.7 55.6 4.7
	(4)	縦の絵の枚数の求め方を基に、横や全体の枚数の求め方を説明し、絵をはることができるか判断する	数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、絵の枚数の求め方を記述し、判断に役立てることができる	50.2 41.7 8.1
3	(1)	ア 消しゴムの値段をもとにすると、コンパスの値段は何倍にあたるか数直線上に表す	場面と図を関連付けた2つの数量関係を理解している	66.8 29.6 3.6
		イ		70.9 25.6 3.6
	(2)	消しゴムの値段を求めるための立式ができる	もとにする量を求めるための立式ができる	78.4 17.3 4.3
	(3)	レタス1個とトマト2個を買ったときの代金を求める	加法と乗法の混合した整数の計算 $120+80 \times 2$ ができる	54.1 42.9 3.0
4	(1)	① 4月の気温を読み取る	折れ線グラフと棒グラフの値を読み取ることができる	81.3 16.1 2.6
		② 4月の売り上げを読み取る		38.2 58.9 2.8
	(2)	一番気温が高い月を見つけ、その時の売り上げを読み取る	折れ線グラフの値を基に、棒グラフの値を読み取ることができる	43.2 53.7 3.2
	(3)	2つのグラフの変化を読み取り、間違いの理由を書く	2つのグラフの変化の様子を理解し、変化の違いを基に説明することができる	42.3 46.2 11.5

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	サクラの様子の説明に当てはまる植物のからだの部分を選ぶ	サクラの成長の様子について、科学的な言葉や概念を理解している	53.3 46.6 0.1
	(2)	ツルレイシの発芽時期が、アサガオやインゲンマメと異なる要因を選ぶ	植物の発芽について、気温の変化と発芽条件の「適当な温度」を関係付けながら、分析して考察できる	54.7 45.2 0.2
	(3)	植物の成長に必要な条件の調べ方について、実験結果を基に、実験方法を考え直すわけを書く	適切に条件を制御した実験を構想するために、実験結果と関係付けながら調べ方を分析して考察し、その内容を記述できる	41.9 53.2 4.8
	(4)	植物の成長に必要な条件について、実験を通して導き出す結論を選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、実験方法と結果を関係付けながら、分析して考察できる	74.8 25.0 0.1
2	(1)	影のでき方について、観察記録から言えることを選ぶ	影のでき方について、太陽の位置と影の様子を関係付けながら、分析して考察できる	62.2 37.7 0.1
	(2)	観察記録を基に、人の影が木の影に隠れる位置を選ぶ	影ができる方位を判断するために、観察した事実と情報を関係付けながら、分析して考察できる	37.7 62.0 0.2
	(3)	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ	月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解している	53.5 46.1 0.3
	(4)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている	79.8 19.9 0.3
3	(1)	振り子の1往復する時間を変える要因を調べるために適切に条件を変えた振り子を選ぶ	振り子の1往復する時間を調べるための実験について、条件を制御しながら構想できる	52.1 47.6 0.3
	(2)	振り子の1往復する時間を変える要因の調べ方について、結果を見通して実験方法を考え直すわけを書く	適切に条件を制御した実験を構想するために、調べ方を分析して考察し、その内容を記述できる	49.2 46.6 4.2
	(3)	振り子の1往復する時間と振り子の長さについて、適切に記録した結果を選ぶ	振り子の1往復する時間を調べるための適切な記録方法を身に付けている	59.7 39.8 0.6
	(4)	メトロノームの1往復する時間を調整した結果とわけを選ぶ	振り子の運動の規則性をメトロノームの調整の仕方に適用できる	51.7 47.4 0.9
4	(1)	メスシリンダーで一定量の水をはかりとる適切な扱い方を選ぶ	メスシリンダーで一定量の水をはかりとる適切な扱い方を身に付けている	61.8 37.7 0.4
	(2)	水の温度と物質が水に溶ける量との関係のグラフと実験結果から、溶けている物質を選ぶ	溶けている物質を判断するために、実験結果とグラフに示された情報を関係付けながら、分析して考察できる	63.8 35.5 0.7
	(3)	水の温度と物質が水に溶ける量との関係のグラフから、ミョウバンの水への溶け方の特徴を書く	ミョウバンの水への溶け方の特徴について、グラフを基に分析して考察し、その内容を記述できる	66.8 28.3 4.9
	(4)	水の温度とミョウバンが水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくるミョウバンの量を選ぶ	析出するミョウバンの量について、グラフを基に分析して考察できる	27.4 71.8 0.8

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一	発表の構成の特徴を考える	話の構成を工夫しながら、意図が明確に伝わるように話す	89.1 10.6 0.3
	二	適切なことわざを選ぶ	文脈上の意味に注意し、適切なことわざを選ぶ	33.0 66.7 0.3
	三	話合いの中での発言の役割を考える	話合いの話題や方向を的確にとらえる	77.2 22.5 0.3
	四	話し方の工夫を考える	話し手の意図をとらえながら聞く	62.1 37.5 0.4
	五	文の成分をとらえる	文中での言葉の役割を答える	57.7 33.4 8.9
	六	話合いの中での発言の役割を考える	話合いの話題や方向を的確にとらえる	52.7 39.7 7.6
2	(1)	(あ) 言い換えられた描写を探す	描写に注意して読み、内容をとらえる	73.7 16.4 9.9
		(い) 内容をとらえて説明する	描写に注意して読み、内容をとらえる	40.5 38.8 20.7
		(2) 内容をとらえ正しいものを選択する	内容をとらえる	23.9 74.8 1.3
		(3) 文章の表現の特徴をとらえ選択する	文章の表現の特徴をとらえる	43.8 54.8 1.5
	(4)	① 漢字を読む(告げる)	文脈に即して漢字を正しく読む	96.5 2.6 1.0
		② 漢字を書く(シジ)	文脈に即して漢字を正しく書く	73.2 19.2 7.5
		③ 漢字を書く(ウチガワ)	文脈に即して漢字を正しく書く	93.2 4.0 2.7
		④ 漢字を読む(貧しい)	文脈に即して漢字を正しく読む	92.7 6.0 1.4
	二	資料を読んで書く	文章に表れているものの見方について自分の考えをもつ	79.3 15.7 5.0
	3	1	一段落を二段落に分ける	段落の役割を考えて文章を構成する
2		書き加える適切な語句を選択する	論の展開にふさわしい語句や文の使い方を考える	60.9 37.8 1.3
二		根拠を書き加える	伝えたい事柄を踏まえて、資料を基に適切な根拠を書き加える	48.8 36.8 14.4
三		適切な表現技法を選択する	文中で用いられている表現技法について、適切なものを選ぶ	52.7 45.6 1.7

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	$21 + 6 \div (-3)$ を計算する	簡単な四則演算ができる	74.8 23.7 1.5
	(2)	10未満の自然数のうち素数をすべて選ぶ	素数の意味を理解している	17.0 75.1 7.9
2	(1)	$3(2x+1) - 2(4x-3)$ を計算する	一次式の加法と減法の計算ができる	77.7 19.8 2.5
	(2)	一元一次方程式 $3x = 1/2x + 5$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	51.1 36.5 12.4
3	(1)	直角三角形⑦と直角三角形⑧との関係を、「原点を回転の中心として、時計回りに・・・だけ回転移動させる」という形で表現する	回転移動について正しく理解している	46.7 51.4 1.9
	(2)	①円柱の表面積を表す式を選ぶ	円柱の表面積の求め方を表す式を、正しく判断することができる	50.7 48.2 1.1
		②円柱の体積を求める	円柱の体積を求めることができる	53.1 39.3 7.7
4	(1)	y は x に比例し、 $x=2$ のとき $y=-8$ であるとき、 y を x の式で表す	比例の式を求めることができる	48.8 42.0 9.2
	(2)	反比例 $y = 12/x$ について、正しくない記述を選ぶ	反比例の意味を正しく理解している	48.3 50.0 1.7
5	(1)	①生徒40人の通学時間を記録した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表からある階級の相対度数を求めることができる	51.8 40.3 7.8
		②生徒40人の通学時間を記録した度数分布表から、累積度数を求める	度数分布表からある階級の累積度数を求めることができる	20.9 59.9 19.2
	(2)	7人がゲームを行ったときの得点の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	67.4 28.4 4.3
6	(1)	5番目で並べる碁石の総数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	82.7 15.1 2.2
	(2)	n 番目について、囲み方を変えた場合の碁石の総数の求め方を説明する	与えられた説明を参考に、囲み方を変えた場合について、碁石の総数の求め方を数学的に説明することができる	26.0 53.2 20.8
7	(1)	学校と2人のそれぞれの家の位置関係について、正しい記述を選ぶ	問題場面における考察対象の位置関係を正しく理解している	50.8 47.5 1.7
	(2)	学校の位置を作図によって求める方法を説明する	条件を基に、問題解決の方法を数学的に説明することができる	21.5 49.7 28.8
8	(1)	直線上の点Pの y 座標が表すことについて、正しい記述を選ぶ	座標を事象に即して正しく理解している	84.4 14.0 1.6
	(2)	太郎さんの条件から、花子さんが、駅まであと何 m のところにいるかを求める	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる	33.0 62.8 4.2
9	(1)	実際の度数ではなく、相対度数を使った理由を説明する	相対度数を用いるよさを理解し、説明することができる	24.3 44.8 30.9
	(2)	A中学校とB中学校の生徒の反復横跳びの記録の比較について、正しい記述を選ぶ	相対度数折れ線の意味を理解し、資料の傾向を正しく捉えている	53.7 43.4 2.9

部	大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
I部 (聞くこと)	1	1	人物の様子を正しく説明している英文を聞き取り選択する	ある状況や場面、事物を描写説明した単文レベルの英文を正しく聞き分ける	79.9 19.7 0.4
		2	部屋の中にある物の位置を正しく説明している英文を聞き取り選択する		88.9 10.7 0.4
		3	グラフについて正しく説明している英文を聞き取り選択する		67.8 31.7 0.5
	2	1	二人の会話を聞き、あとの質問に対する答えとなる時刻を表す絵を選択する	自然な口調で話される日常的な話題についての対話を聞き、情報を正確に聞き取る	39.6 59.8 0.7
		2	電話での会話を聞き、あとの質問に対する答えとなる正しい絵を選択する		74.8 24.7 0.5
		3	指示を聞き取り、あとの質問に対する答えとして正しい絵を選択する		61.0 38.4 0.6
	3	1	留守番電話のメッセージを聞き、その概要を表す英文を選択する	まとまりのある英語(留守番電話のメッセージ)から、相手が伝えたいことや話の要点を聞き取る	56.6 42.7 0.7
		2	日時に関する情報を聞き取り、正しい答えを選択する		48.5 50.9 0.6
		3	何をする予定なのかを聞き取り、正しい答えを選択する		43.1 56.4 0.6
II部 (読むこと)	4	1	文脈から判断し、「公園」という意味の名詞parkを選択する	単文レベルの英文の中で文脈的なつながりを理解し、正しい文法や適切な語彙を用いた表現を判断する	91.8 7.9 0.3
		2	文脈から判断し、「教科書を見せて」となるよう動詞showを選択する		65.3 34.3 0.3
		3	文脈から判断し、「値段が高い」という形容詞expensiveを選択する		49.0 50.5 0.5
		4	文脈から判断し、「質問があるとき」となるよう接続詞whenを選択する		46.7 52.8 0.5
	5	1	ポスターに書かれた情報から特定のイベントが開催される場所を読み取り、書き出しに続く英文を選択する	英語で書かれたポスターから、短時間で必要な情報を検索する	87.2 12.6 0.3
		2	ポスターに書かれた情報からイベント全体の内容を読み取り、質問の答えとなる適切な英文を選択する		61.8 37.6 0.6
		3	与えられた複数の情報を整理して、イベントに効率よく参加できる順序を示す適切なものをを選択する		52.3 47.0 0.7
	6	1	文脈から判断し、姉がニュース番組を見たい理由を述べる英文を選択する	まとまりのある英語の対話文を読んで、話の展開や対話の意味内容を正しく理解する	42.8 55.7 1.5
		2	文脈と資料から判断し、姉妹のやり取りに合う英文を選択する		32.9 65.4 1.7
		3	文脈から判断し、姉妹のTV番組に関するやり取りに合う英文を選択する		44.3 54.2 1.5
		4	文脈と資料から判断し、姉妹のやり取りに合う英文を選択する		22.6 75.6 1.8
	7	1	書き手の行動について読み取り、適切なものを選択する	まとまりのある英語の物語文を読んで、主旨に関する内容や書き手が伝えようとしている要点を理解し、英文の内容を正確に読み取る	26.4 72.6 1.0
		2	書き手が経験した内容を読み取り、文脈に合う英文を選択する		61.1 38.0 0.9
		3	登場人物の心情を読み取り、適切なものを選択する		53.9 44.8 1.3
		4	全体を読み、書き手が最も伝えたかった内容を表す英文を選ぶ		55.5 42.8 1.7
	III部 (書くこと)	8	1	「～出身である」という3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く	与えられた情報に基づいて、適切な表現を用いて英文を正確に書く
2			「テニスが好きである」という3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く	43.5 51.9 4.6	
3			「兄弟がいない」という3人称単数現在時制の否定文を正確に書く	11.4 76.1 12.5	
9		1	文脈から判断し、ペンの持ち主を尋ねる疑問文を単文で書く	与えられた会話のやり取りの内容から推測し、自分の発言として適切な英文を的確に表現する	25.8 55.1 19.0
		2	文脈から判断し、福岡に行った理由を尋ねる疑問文を単文で書く		8.2 66.7 25.2
		3	文脈から判断し、泳ぐことを提案する英文を肯定文で書く		25.3 44.8 29.8
10		①	与えられた状況で、長崎の伝統的な料理について、理由を付け加えて自分の意見を英文で書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く	24.5 49.6 25.9
		②			11.7 61.9 26.3
		③			27.7 45.6 26.7